

令和7年 春季彼岸法要は、3月20日 事前に申込まれた方で、午前と午後の2回 礼拝ホールで行いました。  
今回の彼岸期間 星光照住職は彼岸説教で長崎滞在のため、兄弟弟子の渡邊源昇住職が導師を務めました。



「暑さ寒さも彼岸まで」という慣用句があるように、春のお彼岸が過ぎると寒さも和らいで暖かさを感じられる日が多くなると言われています。まさに今年は、その通りになりました。お彼岸前半は、気温も低く風も強く、来園される方も少なく感じられましたが、20日〜23日は、連日大勢の方が来園され、墓域内は色鮮やかなお花でいっぱいになりました。

